

<個別案件確認表（東京都）>

東京都担当確認年月日 2020年3月18日

東京都作業部会確認年月日 2020年3月19日

事業名 外注業者委託、大会運営費用

案件名 エネルギー業務運営及び関連工事監理業務委託（その2） / エネルギー業務運営委託

確認の視点	東京都の見解	備考
経費の負担が平成29年5月31日の合意の考え方に基づくものであること	<ul style="list-style-type: none"> 本案件は、外注業者委託及び大会運営費用に係る経費であり、経費分担は、平成29年5月31日の大枠の合意に基づくことが確認できた。 	
事業の執行に当たり、大会運営を担う組織委員会が一括して執行した方が効率的、効果的であること	<ul style="list-style-type: none"> 組織委員会は、大会においてエネルギー供給に関する責任を持ち、IOC、国、インフラ事業者及び各FAなど、多くの関係者と調整し、コストを縮減しながら準備を進めている。 組織委員会は、各FAが大会中に使用する機器等に対し、確実に電力を供給することが求められている中、電力インフラ、会場内の仮設電源設備及び無停電電源装置の調達等にかかる大会経費について東京都作業部会で確認してきた。 本案件は、以下の発注を行うものである。 <ul style="list-style-type: none"> ① エネルギー関連工事（発注済みの仮設電源設備整備工事等）の設計監修、工事監理、大会時の業務運営等を一括して、引き続き、東電タウンプランニングと契約。 ② 東電タウンプランニングでリソースを確保することができない大会時の業務運営等については、東京電力ホールディングスと契約。 これまでIOCの大会運営要件に基づき、コストを縮減しながら調整を進め、既に仮設電源設備整備工事や2019年5月からのエネルギー業務運営及び関連工事監理業務委託の発注を実施し、大会運営を担う組織委員会が継続的に本案件を進めることにより、効率的で連続性のあるサービスの提供が可能となる。 	
経費の内容等が必要性（必要な内容、機能かな	<ul style="list-style-type: none"> 本案件は、開催都市契約大会運営要件のエネルギー要件に確実に対応するために必要であり、整備工事や業務運営のスケジュールを考慮し、今般発注が必要であることを確認した。 	開催都市契約大会運営要件 NRG04～08

<p>ど)、効率性 (適正な規模、単価かなど)、納得性 (類似のものと比較して相応かなど)等の観点から妥当なものであること</p>	<p>効率性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 執行見込額について、以下の内容を確認した。 <ul style="list-style-type: none"> ① 要員計画は、会場の配置計画や整備工事の工程を踏まえ、IOC と協議し、決定。これまで、IOC 推奨要員に対して精査、削減し、必要な規模に抑制。 ② 直接人件費の単価は、設計業務委託等技術者単価（国土交通省）を採用。 ③ 直接人件費の人工は、2019年3月から2020年12月の間に実施する業務に必要な人工を積み上げ。 ④ 諸経費、技術料等経費については、都の基準の標準の掛け率を用いて算出。 	
	<p>納得性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ これまで組織委員会は、大会時のエネルギー供給に向けて IOC と要件緩和の調整や適宜設計の見直しを行い、コスト削減に努め、進めてきている。 ・ 本案件は、開催都市契約大会運営要件のエネルギー要件に確実に対応するために必要であり、その発注額の妥当性について確認した。 ・ 調達部での交渉を通じ、さらなるコストの削減に努めていただきたい。 	
<p>その他経費の内容等が公費負担の対象として適切なものであること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大会成功に向けて、大会開催都市としての責任を持つ東京都が大枠の合意に基づき、本案件の経費を公費で負担することは適切である。 ・ 現時点では大会経費の都の枠内であることを確認できないため、組織委員会予算の執行とする。 		

* 公費負担の対象となるパラリンピック経費に該当するか否かについては、「パラリンピック経費の基本的な考え方について」に基づき、パラリンピック作業部会において確認するものとする。